

准教授  
藤和 太

## ■ 学歴

---

1. 2005年 九州大学博士課程 卒業

## ■ 学位

---

1. 2005年 博士（医学）

## ■ 研究分野

---

1. 栄養疫学研究
2. 分子疫学研究
3. 生活習慣病に関する疫学研究

## ■ 研究キーワード

---

1. 疫学
2. 遺伝子多型
3. 生活習慣病

## ■ 研究課題

---

1. 症例対照研究における DNA 修復酵素遺伝子多型と大腸がんに関する分子疫学研究
2. コーヒー摂取習慣関連遺伝子多型と空腹時血糖値に関する疫学研究

## ■ 担当授業科目

---

1. 公衆衛生学（前期）（栄養学科）必須
2. 栄養疫学（後期）（栄養学科）選択
3. 公衆衛生学（前期）（福祉学科）選択
4. 健康管理概論（前期）栄養学科 必須
5. 管理栄養士演習 I（通年）（栄養学科）必須
6. 国際栄養論（後期）（栄養学科）選択
7. 科学英語文献講読（前期）（栄養学科）選択
8. 実践活動（3年後期・4年前期）（栄養学科）選択
9. 卒業研究（3年後期）
- 10.

## ■ 授業を行う上で工夫した事項

---

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

- |    |   |
|----|---|
| 1. | 授業科目名【公衆衛生学】（栄養学科）                            |
|    | 聞き取れにくい場合があると予想していたので、できるだけきれいなスライドを作成し、授業内容が |

	分かりやすくすることに気がつけた。新しいシラバスに基づいて、予習・復習をすることを勧めた。クラスルームの強みを生かして、配布資料を見やすくし、学生が常に見えるよう工夫した。
2.	<p>授業科目名【栄養疫学】</p> <p>公衆衛生学Ⅰでは、スライドを中心にした授業だったが、学生が教科書を読む習慣があまりないことに気がついた。それで、栄養疫学の授業中、学生に教科書の重要な部分を読ませることを取り入れた。また授業中に発表や討論など応用的内容を取り入れた。毎回小テストを実施し、理解度を確認した。クラスルームの強みを生かして、配布資料を見やすくし、学生が常に見えるよう工夫した。</p>
3.	<p>授業科目名【公衆衛生学】（福祉学科）</p> <p>公衆衛生学の授業中、学生に教科書の重要な部分を読ませることを取り入れた。また授業中に発表や討論など応用的内容を取り入れ、毎回小テストを実施し、理解度を確認した。クラスルームの強みを生かして、配布資料を見やすくし、学生が常に見えるよう工夫した。</p>
4.	<p>授業科目名【健康管理概論】</p> <p>スライドの数を減らし、授業中の演習を増やして、学生の意欲を出そうとしたので、結果的に時間的な余裕を持つことができた。クラスルームの強みを生かして、配布資料を見やすくし、学生が常に見えるよう工夫した。</p>
5.	<p>授業科目名【管理栄養士演習Ⅰ】</p> <p>国家試験対策の授業で、演習を中心に行った。また解説プリントなど資料をできるかぎり配布し、授業内容を充実させた。クラスルームの強みを生かして、配布資料を見やすくし、学生が常に見えるよう工夫した。</p>
6.	<p>授業科目名【国際栄養論】</p> <p>「国際栄養論」は2単位（2時間×15回）の後期科目である。講義内容は各国の医療栄養制度、栄養摂取状況、食文化について勉強する科目である。履修登録学生は少なかつたため、アクティブラーニングを活用し、課題に対し、自分で調べ、自分でまとめて、発表する形で授業を進めた。</p>
7.	<p>授業科目名【科学英語文献講読】</p> <p>「科学英語文献講読」は1単位（2時間×8回）の後期科目である。主に栄養学に関する英語論文を講読する。履修登録学生は少なかつたため、アクティブラーニングを活用し、英語論文をPubMedで調べ、調べた論文を講読し、発表するようにした。</p>
8.	<p>授業科目名【実践活動】</p> <p>学生が研究テーマを決め、決められた研究テーマに関する先行研究を調べ、講読し、週一回発表する。最後に自分の研究テーマについてまとめて文章にし、口頭発表する形で学生が自分から能動的に勉強するよう工夫した。</p>
9.	<p>授業科目名【卒業研究】</p> <p>卒業研究テーマは「コーヒー摂取習慣関連遺伝子多型と空腹時血糖値に関する疫学研究」である。卒業研究生は研究の先行研究論文を購読し、ゼミ生と一緒に抄読会をしました。また、研究データの整理と分析方法を学習した。</p>

## ■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	2002年 10月～現在に至る	アジア太平洋がん予防学会	会員

2.	2003年 1月～現在に至る	日本疫学会	会員、(2021-2022年、代議員)
3.	2003年 10月～現在に至る	日本癌学会	会員
4.	2004年 8月～現在に至る	日本がん疫学研究会	会員
5.	2010年 12月～現在に至る	日本公衆衛生学会	会員

## ■ 研究業績等に関する事項 (2023年度)

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
(著書)					
1.	2023年 11 月	健康管理概 論 第4版	共著	講談社	<p>① 栄養学 NEXT シリーズ教科書として編まれたもので、管理栄養士国家試験ガイドライン「社会・環境と健康」において、生涯を通じた健康管理をまとめた教本である。妊産婦、乳幼児、児童生徒、学生、成人及び高齢者の健康管理の順で構成されている。</p> <p>② 監修者名：桑波田雅士 塚原丘美 共著者：久保加織、<b>藤和太</b>、他 17名</p> <p>③ 担当部分：第8章 生徒の健康管理 (P127-144) 総頁数：P201</p> <p>④ B5判</p>
2.					
3.					
(学術論文)					
1.	なし				
2.					
3.					
(翻訳)					
1.	2023年5月	医学部教科 書、病気がみ える vol.11 運動器・整形 外科 モンゴル語・ 英語・日本語 語彙集	共著	Medic Media 名古屋大学	<p>① 名古屋大学大学院医学系研究科医療行政学、モンゴル国立医科学大学大学院研修所と協力し、日本の医学部教科書である「病気がみえる」シリーズをモンゴル語に翻訳する作業を行っている。2023年5月に vol.11 のモンゴル語翻訳が終了し、印刷された。</p> <p>② 監修者名：浜島信之、バトウムル トウムルクヤク</p>

					共訳者名： <u>藤和太</u> 、ナラन्दルガ ドルゴル、オトゴンバト アルタンゲレル ③ 担当部分：日本語のモンゴル語訳 (P1-103) 総頁数：P103 ④ B5 判
2.	2023年4月	医学部教科書、病気がみえる vol.5 血液 モンゴル語・英語・日本語語彙集	共著	Medic Media 名古屋大学	① 名古屋大学大学院医学系研究科医療行政学、モンゴル国立医科学大学大学院研修所と協力し、日本の医学部教科書である「病気がみえる」シリーズをモンゴル語に翻訳する作業を行っている。2023年4月に vol.5 のモンゴル語翻訳が終了し、印刷された。 ② 監修者名：浜島信之、バトウムルトウムルクヤク 共訳者名： <u>藤和太</u> 、ナラन्दルガ ドルゴル、オトゴンバト アルタンゲレル ③ 担当部分：日本語のモンゴル語訳 (P1-87) 総頁数：P87 ④ B5 判
3.					
(学会発表)					
1.	なし				
2.					
3.					

## ■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)
1.	なし			
2.				
3.				

(2) 個人研究				
----------	--	--	--	--

	研 究 題 目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備 考
1.	なし			
2.				
3.				

## ■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	なし		
2.			
3.			

## ■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2017 年度～現在	保健福祉学部研究所運営委員会	委員
2.	2023 年度～現在	予算委員会	委員
3.	2020 年度～現在	国際交流委員会	委員
4.	2023 年度～現在	公開講座委員会	委員